

達成状況評価シート①中長期計画に対する自己評価 (1 ページ以内)	
全体評価	S : 当初の計画を超え、目標を上回る顕著な成果が得られている A : 当初の計画を着実に実行してきており、目標に対し十分な成果が期待できる B : 当初の計画をほぼ実行できているが、一部に遅延、未達等の取組があり、目標の達成に継続した努力が求められる C : 当初の計画について半数以上の取組について未達であり、取組や目標に関して一定の見直しが必要である。 D : 当初の計画を大幅に下回っており、目標の達成見込みがないため、計画に関する抜本的な見直しが必要である。
A	
評価理由	<p>当プラットフォーム(「ひょうご産官学連携協議会」以下、「当協議会」という。)では、2018(H30)年4月より当協議会のメンバーで大学のプラットフォームである一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸(以下、「当コンソ」という。)に1短期大学・2賛助会員企業が加盟し(加盟校は41大学等となり、県下56大学等の内73%が加盟となった)、体制が強化された。</p> <p>当協議会では、中長期計画において10課題を設定し、課題を解決するために15の取組を計画・実施している。2018(H30)年9月末日現在までの実施状況について、3つの取組についてはS評価、10の取組についてはA評価、2つの取組についてはB評価とした。全体としては、5年間の中長期計画の1~2年目として着実に実行しており、目標に対し十分な成果が見込めるとの判断でA評価とした。</p> <p>なお、S評価の取組については当協議会のアプローチの充実度を表すものであるが、今後の実施に向けては指標の数値目標を再設定することも検討する。A評価の取組については達成目標の実現に向けて更なる充実を図る。B評価の取組については指標の達成目標年度が次年度以降であり計画をほぼ実行できているものの、更に改善の余地があるとの判断から当該評価とした。</p> <p>各取組について、当協議会の評価及び改善の手順に則り、次年度に向けて適宜見直しを行うとともに、各課題の解決のため、当コンソの賛助会員の増加を含め、地域の産業界との更なる連携強化を図るべく連携協定締結先の追加に向けて調整を進めている。</p>
評価に関する備考 (考慮すべき事項)	
<p>当協議会では、各取組を一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸の各事業委員会にて分担して実施しているため、課題の解決に向けて、各事業委員会が情報共有し、連携を密にして進めることが重要である。このため、2018(H30)年4月より事務局体制を強化しており、今後はさらなる連携のもと、着実に成果をあげていきたい。</p>	